

2月4日は優しさの灯りに包まれました！

「灯の祭典inせきかわ・七ヶ谷雪ほたる」

2月4日、村内有志で結成

されている地域福祉計画・
地域福祉活動計画推進ワー
キングチーム「やろでば会」
(平田大之会長・大島)が

「灯の祭典inせきかわ」を開
催し、福祉と観光をテーマに
村民が持つ優しい心、温かさ、
人情を灯りに表しました。

会場となった渡邊邸では、
手話ソングやお茶会、アール
ブリュット展が行われ、村内
外から大勢が訪れました。



▶オープニングで篠笛を披露する田村優子さん



夕方にな

り雪灯ろうに火が灯される
と、会場の雰囲気は一変し
ました。さらに「灯りの祭
典inせきかわ」の一環とし
て行われたスカイランタン
100基が打ち上げられる
と、それまで吹雪いていた
天候が、一瞬おさまり、空
に浮かぶ灯りに大勢の人が
カメラを向けていました。

家族で訪れた阿部真人さ
ん(金丸)は、「はじめて見
たけど、絶景ですね」と感
動していました。

アールブリュット展では、
渡邊邸の1、2階に芸術家の
純粋な、創造力豊かな作品が
多数並び、見る人に深い感動
を与えていました。
同日には、安角ふれあい自
然の家を会場に、七ヶ谷雪ほ
たる(主催タランペクラブ・
加藤克徳代表・鮎谷)も開催
されました。
七ヶ谷の集落ごとに雪像や
雪灯ろうが作られ、昨年話題
となったパンダのシャンシャ
ンの雪像などが、来訪者を楽
しませていました。



▲手話ソングを披露する「ひめさゆり」のメンバー

大勢の来場者があつというまに雪遊びの達人に！

第13回 おおいし・どもんこ祭り

『おおいし・どもんこ祭り』
(大石・山と川に親しむ会主
催・高橋八男会長)が2月10
日、大石ダム湖畔県民休養地
を会場に開催され、家族連れ
などでにぎわいました。

会場入ってすぐに来場者を
出迎える巨大どもんこは、高
さ約6m、幅約10mで、中
生活ができるほどの大きさで
す。巨大どもんこの奥にある



広場では、応援にかけつけた
国際ボランティア学生協会I
VUSAの学生約50人が、竹
スキーやどもんこ作り、雪合
戦などをして、子供たちを楽
しませました。巨大どもんこ
の中では、昔懐かしい煎餅型
を使った煎餅焼き体験コーナ
ーが設けられ、来場者を喜ば
せていました。

家族で遊びに来た加藤元喜
くん(村上小3年)は「ども
んこ祭りは、いろんな雪遊び
ができて楽しい。これからミ
ニどもんこを作るよ」と祭り
を満喫していました。

高橋郁さん 全国選手権大会出場決定！ 柔道女子57kg級・団体戦優勝



▲仲間と優勝の喜びを分かち合う高橋さん（写真中央）

高橋郁さん（下関・新発田農業高校2年）が、1月20日、21日に新潟市鳥屋野総合体育館で開催された「第40回全国高等学校柔道選手権大会新潟大会」に出場し、女子個人57kg級と団体戦で見事優勝しました。

昨年63kg級で出場したインターハイ県予選では、惜しくも2位。今大会はもつとも出場選手が多い57kg級で出場しました。今まで準優勝は何度も経験し、あと1歩のところまで掴めなかった全国の舞台。やるべきことは全てやってきたという強い思いが、高橋さ

んに優勝をもたらしました。「今までに感じたことのない喜びでした」と話してくれました。また、次鋒を務めた団体戦でも新発田農業高校柔道部の2連覇に貢献しました。

高橋さんは「全国の舞台で試合をするのは初めてですが、自分の柔道を貫いて、得意技の背負い投げで一つでも多く勝ち進めるよう頑張ります」と抱負を話してくれました。

全国大会は3月20日から日本武道館（東京都）で開催され、NHK衛星第一放送で放映予定です。全国の舞台での活躍が期待されます。

勇気を出して1歩踏み出したら、私を支援の輪が包んでくれた

～不登校・ひきこもり座談会を開催～

NPO法人「ここスタ」（鈴木久子代表・下関）が、2月18日、村民会館大ホールで、不登校や引きこもり経験者、当事者家族や支援者のそれぞれの立場から気軽に話し合う「ざだんかい」を開催しました。

クラスメイトと人間関係のこじれから不登校になったという経験者からは、「1歩踏み出すことは大変だけれども、勇気を出すことで周りの支援を得られた」と過去の経験を伝えました。

また、家族の立場から経験者への質問では、「親が執拗に話しかけることは、どう感じるものか」との質問に、「外を遮断している状況だったので、親からの日常会話は欲しかった」など、経験者でなければ語れない言葉に参加者は、聞き入っていました。

鈴木代表は、「悩んでいる人が、このざだんかいでヒントをつかんで、温かい気持ちになってもらいたい」と話していました。



非常時の対応を確認！ 渡邊邸防火訓練実施



文化財防火デーに合わせ、1月26日、国指定重要文化財「渡邊邸」で防火訓練が行われました。

訓練には、渡邊邸自衛消防隊員や村上市消防本部関川分署、村などの関係者約20人が参加しました。

訓練では、囲炉裏付近から火災が発生したと想定。火災報知器を鳴らし、避難指示やお客様の誘導など、本番さながらの避難訓練を実施しました。また、邸内の放水銃での放水訓練、村上市消防本部による消火器の使用講習が行われ、「手前からホウキで掃くようにホースを操作する」などと指導を受けました。

渡邊家保存会の井浦事務局長は、「訓練をすることによって、防火への意識が高まる。もちろん、火災をおこさないことが第一ではあるが、今後も訓練を積み重ねて貴重な文化財を守っていきたい」と話していました。

関川村 IVUSA 後援会設立 みんなで学生を支えよう



2004年、村出身のNPO法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）の学生であった松田綾子さん（下関出身）の「地元を盛り上げたい」という思いから始まった村とIVUSAとの関係が、今年で15年目を迎えます。これまでに延べ2,822人の大学生がボランティア活動に来村しました。

2月8日、そんなIVUSA学生を支援しようと、村民有志13人が発起人となり「関川村IVUSA後援会」（平田大六会長・小見）を設立しました。後援会では、IVUSA学生が村内で活躍する様子を伝える広報紙の発行などを行っていく予定です。入会金は100円で、年会費は1,000円。

平田会長は、「IVUSAの活動が今以上に村民に理解され、広まっていくような支援をしていきたい」と話していました。

入会を希望される方は、事務局へご連絡下さい。

後援会事務局 佐藤袈裟之 ☎64-0043

平田 誠 ☎64-1926

※写真は、2月11日に行われた同窓会の様子

さらなる協働活動の可能性を探る！ IVUSA学生が聞き取り調査実施

2月12日、NPO法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）の学生約50人が、5つの集落（上土沢、幾地、大石、小見、蛇喰）で村の魅力の発掘や地域活性化に関わる意見交換などを目的とした聞き取り調査活動を行いました。

50歳代から80歳代までの約10人が集まった小見集落には学生9人が訪れ、地域での困りごとや集落で取り組む事業の現状や課題などを聞き取りました。

小見集落の小沢幸雄区長は、「集落でもいろんな意見を聞ける良い機会となった。学生がみんなを笑顔にして、いろんな話を聞きだしてくれた」と話してくれました。

15年目を迎える村とIVUSAとの関係に、新たな協働活動が生まれるような活発な意見交換が行われました。



1月28日、2月18日の2日間、せきかわふれあいどくむを会場に「せきかわフットサルカーニバル（SFC）2018」が開催されました。

この大会は、村内でサッカーを楽しむ有志で結成されたSFC実行委員会（中東和佳委員長・中東）が主催し、今年で11回目を迎えました。

今年の大会には、村内外から16チームが参加し、サッカー経験者、初心者、女性が混じって楽しく競い合うミックスの部と高校生も参加した本格的な一般の部に分かれて行われました。

サッカーとは違い、狭いコートの中で行われるため、切り替えのスピードが速く、ボールを奪うと即シュートという場面も多く観られました。また、人数も1チーム5人と手軽に仲間を集められることも魅力で、過去には、40を超えるチームが参加したこともありました。

女性は1ゴール2得点とい



▲スピードガン競技で、80km/h越えのシュートも！

**せきかわフットサルカーニバルを開催！
村のサッカー人口増加に期待！**

ルールで行われたミックスの部では、笑顔や笑い声が絶えず、ゴールを決めて飛び上がって喜ぶ姿が大会を盛り上げていました。

主催した中東委員長は、「サッカーを楽しみたいという思いから開催した大会ですが、減少傾向にある県北地域のサッカー人口増加に繋がっていきたい」と話していました。